

### 通常登校の再開にあたっての学校生活のヒント

児童・生徒の登校が始まり、各校で感染予防に取り組まれていることと思います。私たちがお聞きした各校の取組や、私たちが話し合ってきたアイデアを紹介します。ご活用ください。

#### 登下校

- ・開扉時刻を遅らせるよう家庭に通知
- ・昇降口混雑を避けるため地区や学年ごと登校時刻のめやすを示す。
- ・更衣場所の密を防ぐため、運動着登校
- ・通学バスの密を防ぐため、通常より台数を増やして、分散乗車にする。座席は一つ飛ばしで座り、換気する。
- ・教室(昇降口)で、健康チェック。  
(朝早く、勤務時間オーバーがある場合の退勤時間の調整の工夫)



#### 健康観察

- ・健康チェックカードを保健室入り口で回収，児童生徒の検温をする。
- ・配信メールのアンケート機能により，発熱等の症状を一斉に調査することも可能。いくつかの質問項目の結果を一覧表に出力し，把握が可能。
- ・職員も検温を欠かさず，日常生活では子ども達のために感染リスクを減少させる行動を心がける。
- ・マスクによる体温上昇，熱中症の症状にも留意する。



#### 手洗い

- ・時間をずらして水道を使う。
- ・空き教室水道や，外水道も割り振って利用する。
- ・手洗い音楽を流す。
- ・並ぶ位置(足跡・線)の明示等
- ・ハンカチは毎日取り換え共用しない。口や鼻を触らない。爪は短くする。
- ・水道が少なく，うがいの頻度が確保できない場合，水筒を持参しこまめに水分補給する。
- ・手洗いに慣れ，丁寧さが見られなくなった時の手洗いスタンプ使用。(低学年)



#### ソーシャルディスタンス

- ・フラフープや物差し，互いの片腕の長さなどを利用して距離を体感させる。
- ・距離を意識できる校内掲示の工夫。
- ・会話は真正面を避ける。
- ・トイレは廊下に並んで待つ。



#### 休み時間

- ・体育館の密を避ける(使用制限も)。
- ・体を動かす際は，熱中症予防のためマスクをはずす。水分補給を。
- ・接触の少ない遊び(縄跳び，かくれんぼ等)を推奨，紹介。
- ・休み時間の開始，終了時刻を学年や学級毎ずらし，手洗いの時間に充てる。



#### 換気

- ・エアコンは室内の空気が循環しているだけで必ず換気を行い，扇風機等も併用する。
- ・対角の窓や戸を開放する。
- ・放送室なども忘れずに換気する。



## 給食

- コンテナ前に消毒液を設置する。
- コンテナへ取りに行く時間を低学年⇒高学年とし、時間をずらす。
- 自校給食の場合、お皿数を減らせる献立や、アルミホイルや袋、蓋つき等、個包装の配慮。
- 教師が盛り付け、自分の器は自分で配膳する。
- 箸やスプーンは教師が配る。
- エプロンは個人もちにする。
- 給食前後の配膳台消毒
- 食事中に飛沫が飛ばない、マナーを徹底する。
- 食事中の教室が和やかになるようなBGMを流す。  
(会話ができない場合)



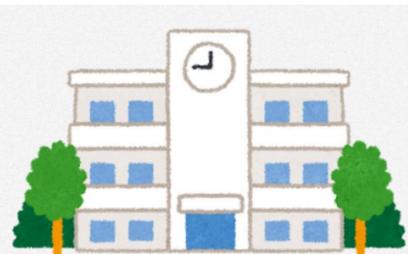
## 清掃・消毒

- ウイルスの付着が多いトイレは職員が分担する。
- 雑巾がけ時の密を防ぐため、モップなど清掃用具の変更を検討する。時間短縮と効率化の清掃に変更する。
- 次亜塩素酸の除菌効果がある液は子どもにも有害(アレルギー性肺炎、喘息の可能性)のため、アルコール消毒液を用途に合わせて使い分ける。
- 子どもがよく触る意外な場所の観察と、放課後の職員による除菌時のチェック項目の共有を図る。
- 子どもがマスクなしでくしゃみをした等、急な場合のために各教室に除菌用具を配備する。
- 児童会活動、清掃等の子どもによるごみ回収をとりやめる。



## 授業

- 歌唱、リコーダーや、調理、身体接触の多い活動等、感染リスクの高い内容は、指導の順序を工夫する。
- どうしても必要な場合は、屋外で一列隊形の歌唱や音読など、距離を取れるよう配慮する。
- グループでの実験など、示範や映像で代用する。
- 知識伝達に終始しないよう、単元に軽重をつけ、子どもが思考判断する内容を明確に位置付ける。
- 家庭学習でできる部分(個人追究や反復練習)と学校で学ぶ場面を考慮する。



## 図書館

- 図書館入り口の消毒をする。
- 司書教諭や委員会生徒が手袋をして本の受け渡しをする。
- カウンターにビニールシートの仕切りをつける。
- 椅子の半数は撤去する。
- 読書の時間は学級の半数は図書館で、半数は教室で行う。



いろいろな方法を試しながら、「新しい学校生活様式」をみんな  
で模索していけるといいね!

